

2014年5月20日

**日清エンジニアリング「FOOMA JAPAN 2014 国際食品工業展」に出展
～アジア最大級「食の技術」の総合トレードショーで技術力をアピール～**

日清製粉グループのプラント・機器メーカーである日清エンジニアリング株式会社（社長：山田 幸良）は、本年6月10日（火）～13日（金）の4日間、東京ビッグサイト（東京・有明）で開催される「FOOMA JAPAN 2014 国際食品工業展」に出展します。

■ 食品工場革新をコンセプトに工場建設を提案

当社ブースでは「Food Plant Innovation（食品工場革新）」と題して、ユーザー様の目線での工場建設を提案します。また、「食の安全・安心」への取組みとして、トレーサビリティに対応した生産管理システムをはじめ、AIB^{※1}やFSSC22000^{※2}に対応した工場建設も提案します。さらに、クロスコンタミネーションを防止し、多品種少量生産に適したバリエーション豊富な「マトコンIBCシステム」の導入事例や、空気輸送ラインでの混入物を除去する「インラインシフターQAシリーズ」などを展示します。

※1…アメリカ製パン研究所。食品安全衛生管理に関する検査統合基準を提唱。

※2…国際食品安全イニシアチブ（GFSI）により承認された食品安全の認証スキーム。

■ 当社ブース出展概要

・場 所：東2ホール 2C-16

・内 容：

① プラントエンジニアリングの紹介

- ・マトコンIBCシステム
- ・食品工場向け生産管理システム
- ・エンジニアリング業務の施工事例

② 粉粒体機器の紹介

- ・インラインシフター QAシリーズ
- ・ホソカワミクロン製連続湿式造粒機「フレキシミックス」

③ ブース内プレゼンテーション

「Food Plant Innovation（食品工場革新）」
～食品工場の運用視点による建設アプローチ～

※出展内容の詳細については、日清エンジニアリングWEBサイトをご覧ください。

<http://www.nisshineng.co.jp/>



＜昨年の当社ブースの様子＞

■ 粉体用コンテナシステムに関する出展者プレゼンテーションを実施

6月11日（水）に、生産効率化を実現する粉体用のコンテナシステムについて、事例を挙げながらわかりやすく説明します。

・日 時：2014年6月11日（水）15：20～

・場 所：会議棟6階608

・題 目：『少量多品種生産の効率化を実現！粉体用コンテナシステムのご紹介』

■ 「FOOMA JAPAN 2014国際食品工業展」概要

- ・テーマ：「食の未来を探しに行こう」
- ・会 期：2014年6月10日（火）～13日（金）10：00～17：00
- ・会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区有明3-11-1）
- ・主 催：一般社団法人日本食品機械工業会

この件に関する報道関係者の方々のお問い合わせ先
株式会社日清製粉グループ本社 総務本部 広報部 担当：佐々井・小役丸
東京都千代田区神田錦町1-25 電話03-5282-6650